

たどつのもかし

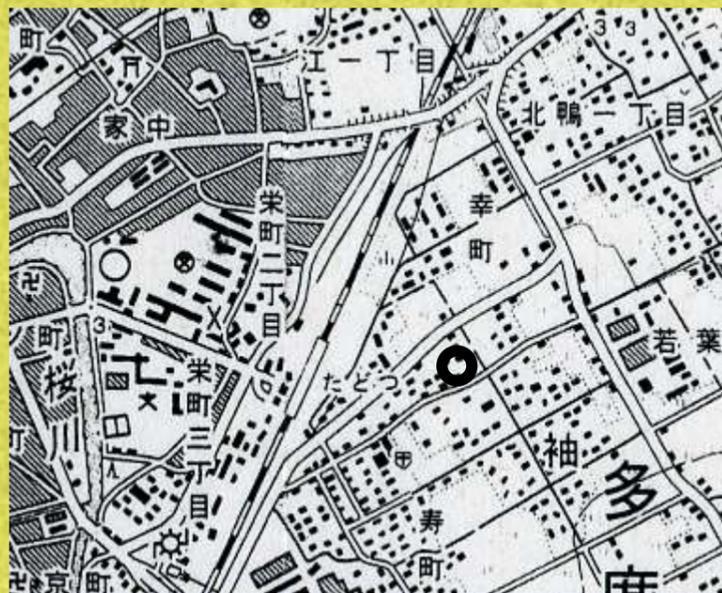
Vol.13 (H27.2.4)

「中世の武将のお墓？」



町立資料館に来られる方は様々な町内の文化財の情報を教えてください。

その一つに大字道福寺字角田というところに「大西角田（おおにしかくでん）の墓」と呼ばれるものがあります。撤去されるかもしれないという



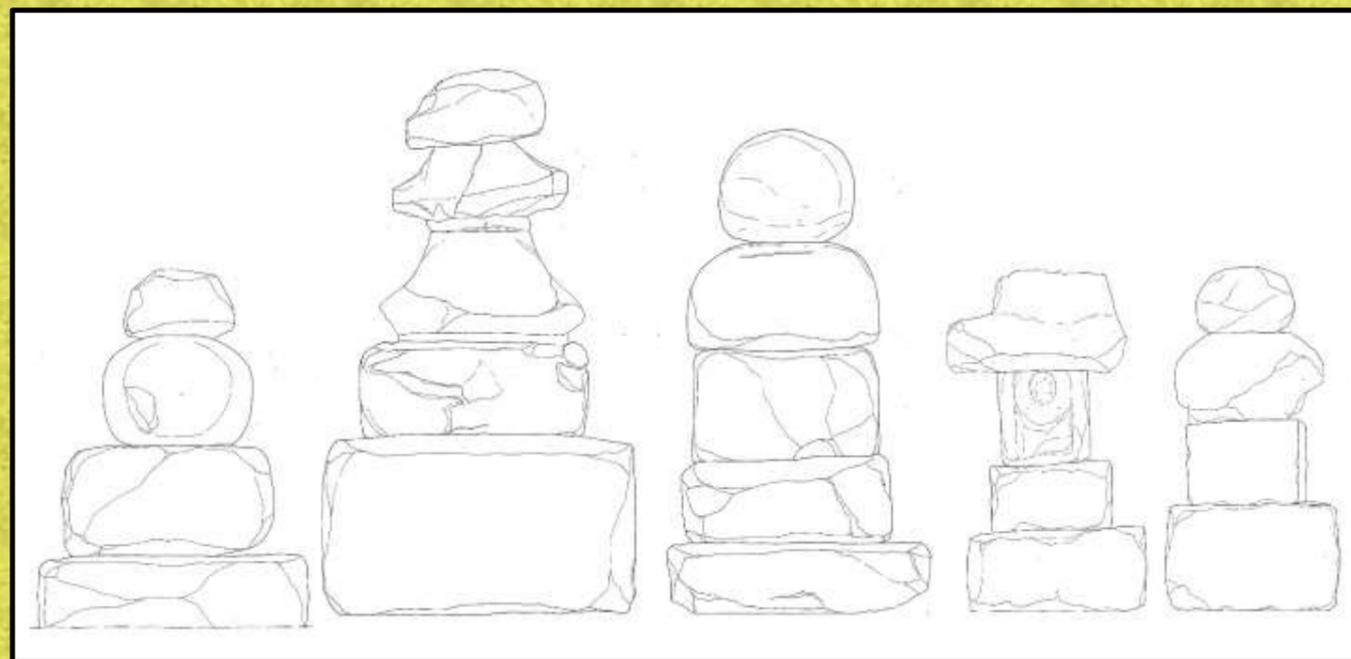
ことから記録保存しておこうという話になりました。地元の方の話ではこの墓は大西角田と名乗る中世の武将のもので、この大西角田は多度津を拠点にしていた香川氏を長宗我部元親が攻めた際に、香川氏に降伏を促すための軍使として天霧城に赴いた人物で長宗我部方の

武将であったということです。実際に長宗我部元親には大西姓の家臣がいます。名前は大

西頼包ですので、同一人物かどうかを示す資料は今のところ見当たりません。

実際の墓を見てみると五輪塔ではありますが、おそらく組み合わせが混ざってしまっているようです。しかし墓石の部材の一部には天霧石（凝灰岩質）のものがあり、全てではないですが、中世に使用され始めた石材が混ざっている可能性はあります。また墓石には刻銘など証拠となる文字が残っていませんので確実なことはいえませんが、伝承としてのみ残っているため「伝 大西角田(頼包)の墓」ということになるのではないのでしょうか。

町民のみなさんにも町内にはまだまだいくつもの石造物があります。今回の墓についても地域の人に愛されている文化財の一つではあるといえます。これらには地域の伝承や歴史が詰まっていますので町民の皆様もぜひ足を運んでみてください。



伝 大西角田(頼包)の墓実測図

山本 大 『長宗我部元親』吉川弘文館 1987年

津野倫明 『長宗我部元親と四国』吉川弘文館 2014年

多度津町誌編集委員会 『多度津町誌一本誌一』多度津町 1990年